

付加設置のメリット

Merit1

命を最優先し、火災を最小限に

消火栓を放水型スプリンクラーヘッドと
組み合わせて有効的に使うことで、
避難支援や延焼防止に繋がり、
従業員の命を守ることを最優先します。



Merit2

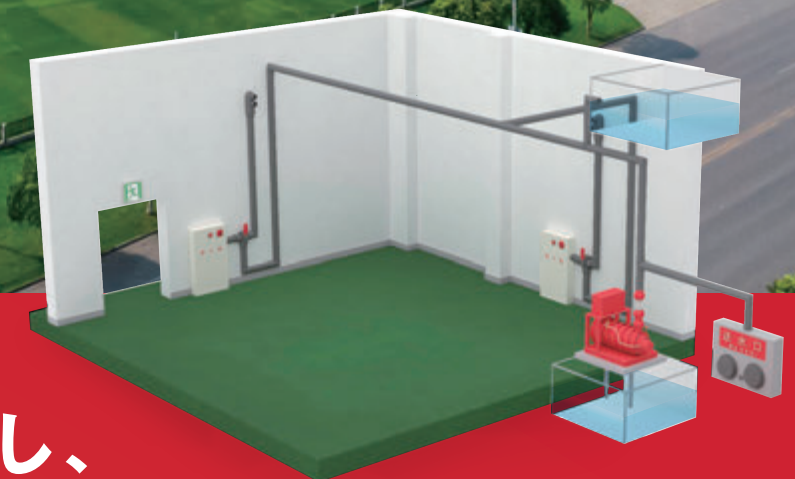
設置の手間を最小限に

大規模な火災はいつでも
発生する可能性があります。
既存設置されている消火栓を軸に
組み合わせていくので、
設置の手間を抑えることができ、
いち早く安全な環境を提供します。

Merit3

コストを最小限に

すでに設置してある消火栓を
有効活用するので、
新規で別の機器を取り付けるよりも
コストを抑えられます。



消火栓を有効活用し、
より確かな「火の安心」を。

ヤマトプロテックの防災コンサルティング

消火栓 × 放水型スプリンクラーヘッド

⚠️ ご注意 ●所轄消防との事前相談が必要です。

※規格・外観は、改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

ヤマトプロテック株式会社

本社 東京都港区白金台5-17-2 <https://www.yamatoprotec.co.jp>

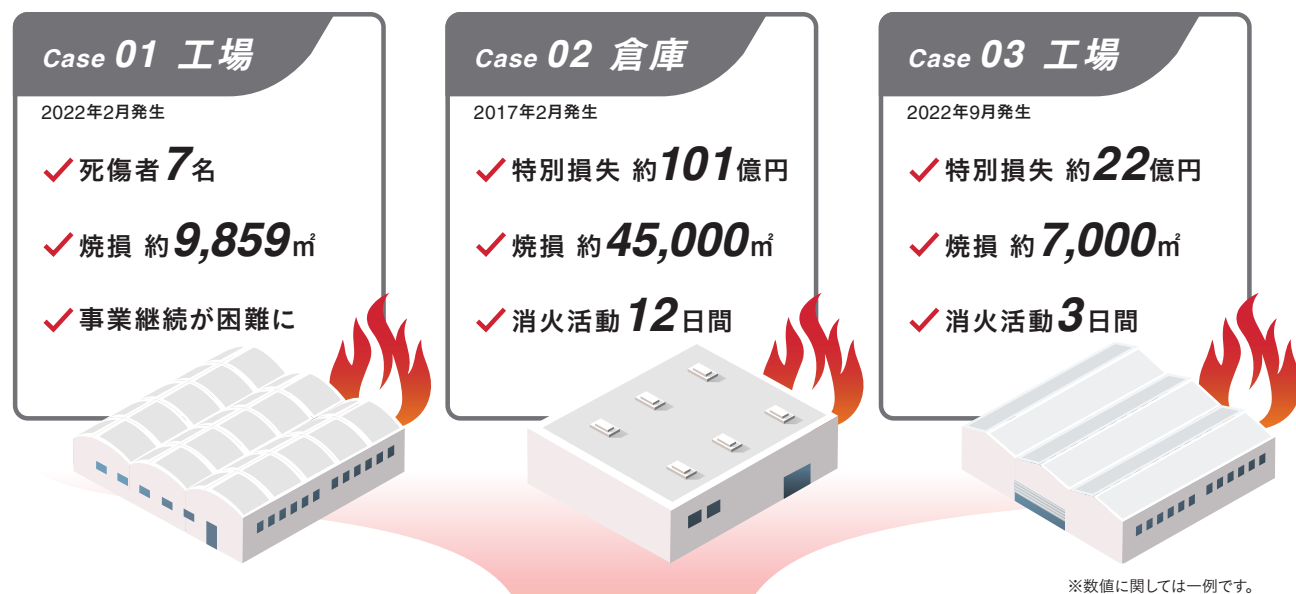
●あらゆる防災設備・機器のご用命は下記へ……



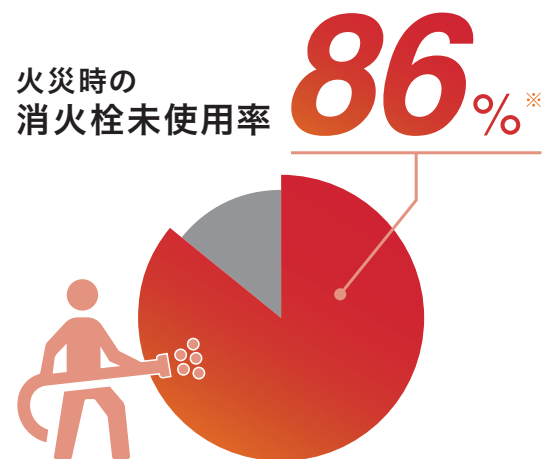
ヤマトプロテック
YouTubeチャンネル

消火栓を有効活用し、 より確かな「火の安心」を。

近年、工場や倉庫・発電所などで予期せぬ大規模火災が多発し、
事業継続の困難や特別損失など大きな影響をもたらしています。



消火活動を満足に行うことができず大規模火災に発展してしまうのは、
このような原因が考えられ、
火災時に消火栓を有効活用できないまま避難する人がたくさんいます。



消火栓の正しい使用方法がわからない

自分たちで消火栓を使用してもいい
ということを知らない

消防隊がきても小さな窓からの放水では
消火活動が難航する

※平成18～22年の平均値(設置対象物の火災件数2,391件のうち2,063件が消火栓未使用)

※出典:初期消火器具等のユニバーサルデザイン化に関する調査研究会報告書(平成24年3月 初期消火器具等のユニバーサルデザイン化に関する調査研究会)

通常時

火点に接近するため、炎や煙に巻かれる危険性がある

消火栓を扱う場合、消火栓を開く人と放水する人の2名で作業しなければならないので、
事前訓練などが必要です。

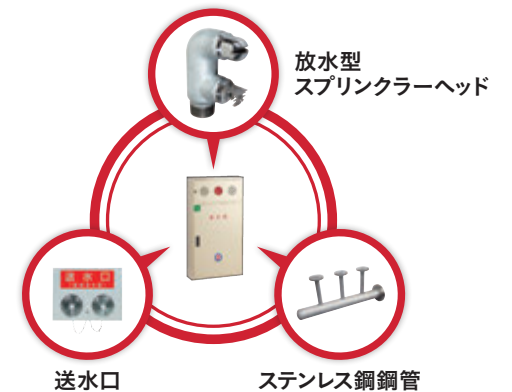
※設置されている消火栓の種類により、異なる場合があります。



消火栓 × 放水型スプリンクラーヘッド

放水型スプリンクラーヘッドの付加設置で、
工場・倉庫・発電所の
より安心な環境をつくれます。

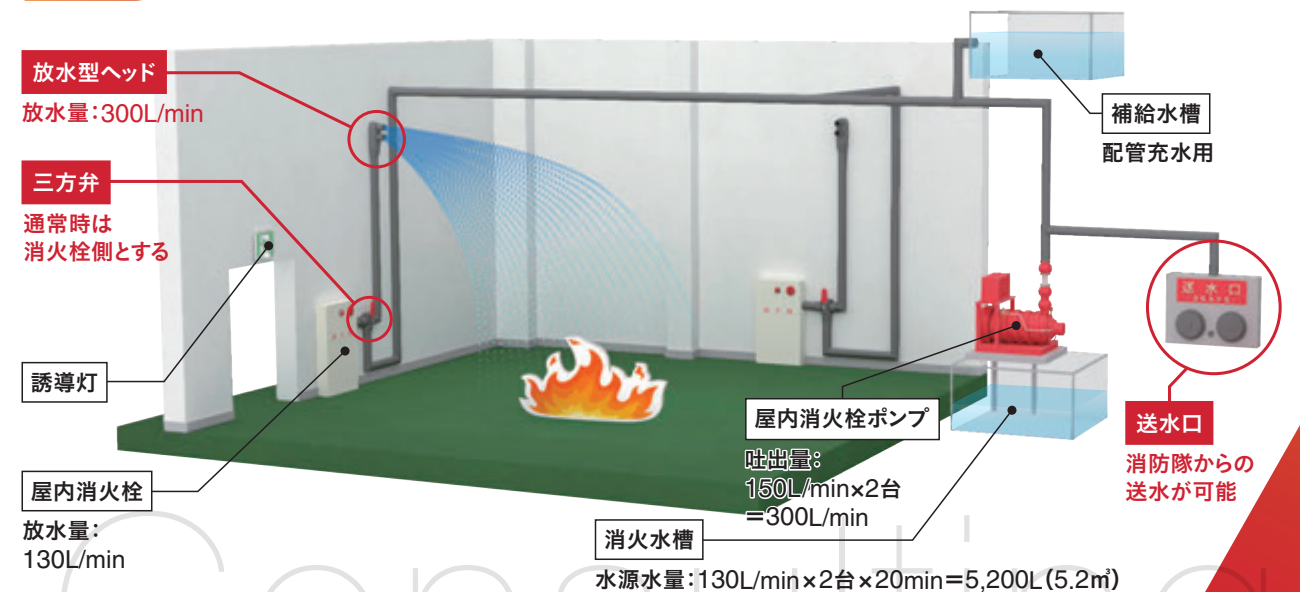
※本設備の設置には所轄消防との相談が必要です。 ※特許出願中。



付加
設置時

放水型スプリンクラーヘッドで放水が可能に

火点に接近しなくても、内側に放水ができるようになります。
また、送水口を設け外部(消防車)から水の供給が可能となるため、
消火水槽が枯渇しても放水し続けることができます。



付加設置のメリットは裏面へ